

1 日時

令和4年10月12日（水）午後2時10分から午後4時40分まで

2 開催場所

柏市役所本庁舎3階 庁議室

3 出席者

(1) 選定委員会委員

加藤副市長（委員長）、小島企画部長（副委員長）、飯田総務部長、中山財政部長、吉田保健福祉部理事、宮本高齢者支援課長

【専門委員】渡部昭氏（社会福祉法人千葉県厚生事業団理事長）、山本敏子氏（社会福祉法人柏北部地域包括支援センター長）

(2) 高齢者支援課（施設所管部署、事務局）

中村主幹、柿崎副主幹

4 配付資料

(1) 進行スケジュール

(2) 指定管理者候補者の選定審査評価表、評価における意見

(3) 候補者選定の考え方

5 議事概要

（※以下、加藤副市長が委員長として議事を進行）

(1) はじめに

委員長から開会の挨拶

(2) 面接審査について

【主な内容】

- ・ 書類審査において面接審査の対象とした応募団体2団体（以下、「応募団体」という。）について面接審査を実施する。
- ・ 面接時間は、各団体50分間（入退室時間を除く）とする。うち、20分をプレゼンテーション、30分を質疑応答の時間とする。

【応募団体に対する主な質疑応答】※社会福祉法人柏市社会福祉協議会

中山委員 柏寿荘に関する課題及び解決、提案されている事業に関する事業頻度等について教えて欲しい。

応募団体 課題においては、立地条件がある。これは巡回バスを活用しつつ、地元町会と連携し、地域資源の活用で近隣の方に活用してもらいたいこと、また設備面では老朽化が問題になっている。これは市と協議をしながら対処していきたい。具体的な事業としては、週1回何かしらの講座を行っている。また昼には体操等を実施している。年間では職員が企画立案し40～50の講座を実施している。また、風呂の塩素濃度の管理を定期的に行っている。

小島委員 利用者のニーズ調査について、どのくらいの頻度で行われているか。また、ニーズ調査で得たものから事業化する予定のものはあるか。最後に維持管

理について具体的に考えていることはあるか伺いたい。

応募団体 年1回、アンケート調査をしている。質問の回答内容で、利用者のニーズを掴みたいと考えている。ニーズからは高齢者は風呂の時間の拡大要望があるがこれは難しい。一方で、楽しい講座に参加したい、仲間づくりをしたいというニーズを職員内で話し合い、オリンピックにヒントを得てボッチャの講座を今年から始めている。これを定着させたいと考えている。最後に、維持管理だが電気代が非常に厳しい。これを捻出するために物件費等を抑制せざるを得ない。また、施設で節電啓発を行い。職員の見回りと共に利用者にも協力を求めている。

渡部委員 研修関係について、職層研修があるが、これは専門職対象か。また、研修のあり方はどうか、現場研修等も考えているか。

応募団体 1問目の回答だが、専門職ではない。基本的には事務的職員が対象。ただし、高齢者への理解等の知識も必要であることから、チーフスタッフ会議からの落とし込みや、専門職を講師にしての研修等を行っている。

また、外部研修については、地域包括支援センターの認知症サポーター講座には新人を積極的に参加させている。また、地域の介護等催し物があれば出張で参加したいと考えている。なお、現センターでは元気な高齢者が対象となっているので、現場研修等は特別考えていないが、職員の中から声が上がれば市内の社会福祉法人と相談しながら、デイサービス等の見学も視野に入れている。

山本委員 講座を有料化して着目してもらうことは考えているか。

応募団体 例として理学療法士を講師とした講座では低額な料金をいただいている。魅力ある講座に付加価値を与えるため、参加費を設けている。現在は100円程度。また、材料費のかかる講座は負担をしてもらっている。

吉田委員 老人福祉センター以外の福祉施設等と連携した行事等は検討しているか。また、心身等ハイリスクな来館者に対する対応を経験等があれば具体的に教えていただきたい。

応募団体 講座等のチラシの配架等を行い、講座等施設利用の促進を考えている。また、田中地域で子ども居場所としての、場所の提供も検討している。なお、ハイリスクな利用者についてはケアマネジャーや地域包括支援センターとの連携で対処している。

飯田委員 災害時体制について、向こう3年間どのように法人として関わっていくことを考えているか。具体的な資機材の調達も。また、音楽健康福祉士による講座については、集客目的として具体的にはどのように活かすことを考えているか。最後にスマホ講座は良いアイデアだが、現在老人福祉センターにスマホを持ち込んでいる利用者はどのくらいか。

応募団体 指定避難所の協定を昨年柏市と結んだ。なお老人福祉センターの鍵の所持を職員全員とし、有事に備えている。必要に応じた職員の派遣も考えている。また、法人としてのマニュアルの整備も考えている。資機材については柏市から配備されているものもあるが、法人でも備蓄は行っており、必要に応じた支援を行っていく考えである。なお、資機材については法人でも揃えている。次の音楽健康福祉士関係については、カラオケ機器を強みに最終的には全職員が資格を取

得して活用していきたいと考えている。最後にスマホの持ち込み者だが、現在のセンターの利用層は70代半ばくらいである。ただ、スマホの浸透性はあると思う。また新しい利用者を確保するためにもこのコンテンツは外せない。ただ、数えてはいないので、具体的人数は分からない。

加藤委員 山高野町会との連携の話があったが、他の町会との連携は。また、職員体制について、副所長の役割とは。

応募団体 現在は山高野町会のみだが、ゆくゆくは船戸町会とも接触したいと考えている。また、柏たなか駅前の新興住宅地の町会も視野に入れている。副所長については、現在、常勤が所長1人のみで負担がかかっていた。また避難所の協定を結んだこともあり、改めて施設管理の責任を感じるようになった。このため常勤者が1人では負担が重いこと、週6日開いていることもあり、常勤者を常に責任者として置くことを考えている。

【応募団体に対する主な質疑応答】 ※A

中山委員 当該法人は勤務者は労働者なのか、あるいは出資者なのか雇用関係を示されたい。また、センター管理受注に当たっては、本部の人間が行うのか、また新たに雇用するのか示されたい。次に「地域」という言葉を多用していたが、どのような認識か。また、地域資源の認識はどうか。最後に清掃警備の委託費が低いが、自己完結で行われているのか。

応募団体 働く者が組合員であり、出資者であるが、短時間労働者等については組合員でない者もいる。いずれにせよ雇用関係は発生する。センターへの職員配置については本部職員を配置する事もあるが、新規採用することもある。次に地域の認識だが、柏寿荘から多少離れたところも含め、さまざまな組織と連携することで、地域を取り込んでいきたいと考えている。地域資源については、大学や他の社会福祉施設と連携し、拠点を広げていきたい。最後に清掃警備費だが、清掃については日頃は職員が行うということで、行き届かないところだけ定期清掃にするとして削減項目としている。清掃部門を持っていることも長所である。

小島委員 施設等の管理について全国展開しているが、地域交流をしている施設はあるか。次に危機管理体制について、事業本部の役割は。関連して、地震が起きた場合、本部は助言をするだけではなく、人材派遣等を行うのか。最後に東関東エリアについて区域とどれだけの人数がいるのかを示されたい。

応募団体 すべての施設で、地域交流を行っている。次に役割については、エリアマネージャーが普段は現場と関わり、内容については事業本部に報告している。また、事業本部には危機管理部があるので、重要事項に対しては事業本部から指示を出すようにしている。有事の際は、本部の他、他のエリア事業者からの支援を行う。東関東エリアは千葉県と茨城県を指し、それぞれ3か所、1か所事業所がある。600名配置されており、400名は組合員である。

山本委員 1日の集客目標は。おせっかいサポーターの意義は。

応募団体 今、来所している方々は維持しつつ、法人が考えた企画等で新たな来所

者呼び込むという考えである。後者は地域と連携し、法人の会員になっていただき有償ボランティア的な役割を担ってもらう。

渡部委員 柏市北部で事業を展開するという魅力は何か。

応募団体 世代を超えた住民たちの交流の場としたい。特に自然に触れ合うことに着目したい。市民団体等とのネットワークを構築したいとも考えている。

吉田委員 高齢者施策についてはどのように考えているか。

応募団体 地域で高齢者がいきいきと活躍できること、地域の支え合いを通じて、高齢者がその人らしく生きることが大事と考えている。

飯田委員 事業を展開する際の地元へのアプローチの方法については。次に事業の際への人員の配置はどうするのか。最後に人員配置について、副管理責任者については非常勤なのか。

応募団体 広報誌やホームページ、チラシの配布を考えている。人員配置については、自主内で配置する他、外部への依頼を極力無償でお願いすることを考えている。最後の副管理責任者は常勤の誤りである。

加藤委員 柏寿荘の設立経緯を考えると町会等との関係性等が深い施設であるが、利用者は、その点をあまり認識していないと思う。どう対策を考えるか。

応募団体 特定の地域の方たちだけではなく、別地域の方たちとも交流していかなければ持続可能な施設にはならないと考える。

(3) 候補者の選定

【決定事項】

- ・選定委員の採点結果により、社会福祉法人柏市社会福祉協議会を、老人福祉センター柏寿荘の指定管理者候補者とする。